

2022 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

(2) 各教員宛通知内容

(3) 授業アンケート結果

①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)

①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)

②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)

②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

1. 授業評価アンケートについて

本学では、授業内容や教育方法の改善における組織的活動の一環として、学生に対する授業評価アンケートを年2回(前期・後期)実施し、その結果を公表することになりました。各担当教員は、アンケート結果を真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てています。

つきましては、今回実施した標記アンケートの結果について公表します。

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

本学では、前期、後期の2回授業アンケートを実施しています。

①前期授業評価アンケートでは、2022年4月4日～2021年7月15日まで前期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。後期授業アンケートでは、2022年10月3日～2023年1月20日まで後期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。この授業評価アンケートでは、本学1学年、2学年の学生を対象に実施しました。アンケートは無記名回答とし、学生がアンケート用紙に記入しました。

2022年度前期 学生による授業評価(1学年)	
このアンケートは、「学生による授業評価」に関する内容です。 以下の①～③の質問項目に該当する科目らつに○をつけて下さい。	
① 特に理解度の高かった科目 ② 特に興味深かった科目を ③ 特に難度の高かった科目	以下の項目について、チェックおよび具体的な意見を述べて下さい。 が、学生皆さんの感染対策への) 良くなかった
高 医 学 用 級 運 動 心 理 少 社 会 活 動 野 解 剖 学 専 解 剖 学 門 生 理 学 基 運 動 学 礎 運 動 発 達 分 解 剖 学 演 野 リ ハ ビ リ テーション チ ーム 医 療 概 理 学 療 法 評 価 観) 利用しなかった) 良くなかった
※前期科目の中で終了していない ※通年科目は、後期に確認しま	
※授業以外の学校生活について (教務部)	
(事務部)	

授業評価アンケート見本
2022年度前期 1学年の例
実施時期・学年により科目変更
**※2022年度は、試験期間の夜間開放および教員による
学習サポート制度に関する項目を追加**

見本に示します通り、各学年前期/後期に開講された授業科目全体を示し、①理解度の高かった科目、②興味深かった科目、③難度が高かった科目について、それぞれに該当する科目を5つに○をつけてもらう事としました。

また、講義の感想、意見、要望、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他、講義以外の学校生活等について、自由記載による回答としました。

(2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

(3)

①-1 前期授業評価アンケート結果（1学年）

前期1学年のアンケート調査は、対象20名に対し、2022年7月29日に実施しました。

【前期12科目について】

	開講	授業内容		
		①理解度	②興味	③難度
基礎分野	医学用語	前期 18	6	2
	運動心理学	前期 9	12	2
	社会活動概論	前期 10	8	1
専門	解剖学Ⅰ	前期 3	9	12
	解剖学Ⅲ	前期 2	4	15
	生理学Ⅰ	前期 5	6	9
基礎分野	運動学Ⅰ	前期 14	10	1
	運動発達学	前期 13	12	3
	解剖学演習	前期 6	7	19
	リハビリテーション概論	前期 9	8	12
	チーム医療概論	前期 6	13	2
	理学療法評価概論	前期 3	6	18

理解度の高かった科目は、医学用語、運動学Ⅰ、運動発達学でした。

興味深かった科目は、チーム医療概論、運動心理学、運動発達学でした。

難度の高かった科目は、解剖学演習、理学療法評価概論、解剖学Ⅲでした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(75%) ・どちらともいえない(25%) ・良くなかった(0%)】

- ・入学後、90分授業に慣れる事や初めての内容の履修で不安もあったようですが、わかりやすく、興味深い内容が多く、集中して取り組めた等、肯定的な意見が多かったです。
- ・授業について、小テストやスケッチ課題など取り組みやすく、グループワーク等、クラスの皆と対面で授業を終えることができ、楽しく充実感があったようです。
- ・一部、暗記する事が多く、授業スピードが速いなどの意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(60%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(40%)】

・全体の約6割の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・自宅ではやる気が出なかったり、集中できなかったりするが、学校では友達と一緒に勉強する時間が増え、先生にも質問しやすく、肯定的な意見が多かったです。

・反面、どちらともいえない学生が4割で、自宅等で学習した学生がいるという結果となりました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(60%) ・どちらともいえない(35%) ・良くなかった(5%)】

・担当教員が丁寧に指導して下さり、とても効率的に取り組むことができ、理解度が高まったという意見が多く、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約6割いました。

・反面、どちらともいえない学生が約3割で、制度を利用しなかった学生もおり、このような結果となりました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・日々の健康調査を実施する事で、体調確認など安心して学校生活を送る事ができたようです。また、授業以外の事でも、気を配って下り、嬉しかったという意見がありました。

①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、20 名に対し、2023 年 2 月 16 日に実施しました。

【後期 20 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	通年	2	2	9
	脳科学概論	後期	6	9	2
	医学英語	後期	10	2	3
	発達心理学	後期	2	4	7
	人間発達学	後期	2	4	6
	日常生活動作概論	後期	9	6	2
	保健体育	通年	8	7	1
専門基礎分野	解剖学Ⅱ	後期	1	6	5
	解剖学Ⅳ	後期	3	4	6
	生理学Ⅱ	後期	6	4	4
	運動学Ⅱ	後期	2	3	3
	病理学概論	通年	2	3	11
	解剖生理学演習	通年	1	7	2
	リハビリテーション医学	後期	15	8	0
専門分野	運動療法概論	通年	4	4	4
	物理療法概論	後期	4	8	8
	理学療法評価学Ⅰ	後期	1	3	5
	理学療法評価学Ⅱ	通年	1	0	8
	理学療法評価学Ⅲ	後期	3	3	4
	障害者スポーツ学	通年	9	7	0

・理解度の高かった科目は、リハビリテーション医学、医学英語、日常生活動作概論、障害者スポーツ学でした。

・興味深かった科目は、物理療法概論、リハビリテーション医学でした。

・難度の高かった科目は、病理学概論、物理療法概論、理学療法評価学Ⅱでした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床見学実習(医療施設)、特に印象に残っている講義や実習について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(78%) ・どちらともいえない(22%) ・良くなかった(0)】

・前期に比べて、科目数も増え、授業内容の難度も高くなり大変な反面、実習も多く、様々な授業を受講でき、達成感を含めて、肯定的な意見が多くありました。

・また、後期も換気など感染対策が徹底しており、学級閉鎖にならず、学生生活が送れたことに感謝の意見が多くありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(50%) ・どちらともいえない(50%) ・良くなかった(0)】

・全体の半数の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(53%) ・どちらともいえない(41%) ・良くなかった(6)】

・学習能力が高まり、わからない時にすぐにサポートして下さい、肯定的に捉えている学生がやく半数程度いました。

・反面、どちらともいえない学生が4割程度で、指導を受けてない学生や継続できなかった学生でした。

【臨床見学実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(82%) ・どちらともいえない(18%) ・良くなかった(0)】

・臨床見学実習について、約8割の学生が、肯定的に捉えていました。

具体的な意見では、実際の臨床現場を見学でき、PTの仕事を理解し、いくつかの施設での特性や業務内容など、学内では体験できない臨床体験の重要性を認識し、患者様や指導者から学ぶことが多かった事などの意見がありました。あわせて、実習での体験は、勉強不足も実感でき、意識を変えることができ良かった等の意見もありました。

【特に印象に残っている講義や実習について自由記載のまとめ】

・講義では、身体哲学概論、発達心理学、日常生活動作概論等でした。講義の中で、周囲の人との確認作業や小テストがある科目は定着度が高いようでした。

・実習では、解剖見学実習でした。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・教務部には、学習サポートなど学生が学習しやすいように協力や対策を考えてくれ、自然と学習できる環境を整備してくれていることへの感謝の意見がありました。

・事務部には、事務長の説明がわかりやすく、授業資料の準備等感謝の意見がありました。

②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、対象 20 名に対し、2022 年 7 月 29 日に実施しました。

【前期 16 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門 基礎 分野	生 理 学 III	前期	8	4	0
	運 動 学 III	前期	5	9	11
	運 動 学 IV	前期	6	7	6
	リハビリ整形外科学（沖田・榎本・池田）	前期	6	10	6
	リハビリ栄養・薬理学（小野・大坪・高橋）	前期	5	6	3
	老 年 病 学	前期	6	10	3
専門 分野	理 学 療 法 評 価 学 IV	前期	10	6	2
	関節機能障害理学療法学（宮内・薦田）	前期	5	3	10
	一 般 外 傷 理 学 療 法 学	前期	4	5	5
	脳 障 害 理 学 療 法 学 I	前期	3	10	15
	呼 吸 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	7	5	10
	循 環 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	7	6	5
	物 理 療 法 学	前期	8	6	8
	装 具 学	前期	6	3	5
	日 常 生 活 動 作 学	前期	6	4	9
	地 域 リ ハ ビ リ 学 I	前期	9	5	2

・理解度の高かった科目は、理学療法評価学IV、地域リハビリテーション学I、生理学III、物理療法学でした。

・興味深かった科目は、リハビリテーション整形外科学、老年病学、脳障害理学療法学Iでした。

・難度の高かった科目は、脳障害理学療法学I、運動学III、関節機能障害理学療法学、呼吸器障害理学療法学でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(75%) ・どちらともいえない(25%) ・良くなかった(0%)】

・本年度は、対面型主体で受講でき、授業量や課題等、限られた期間の中でやるべき事が

多かったが、周囲と協力して取り組めたことが良かった事や、PTについて今まで以上に興味を持てた事でやる気に繋がった等、大変な中でも充実感があったという意見が多かったです。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(75%) ・どちらともいえない(10%) ・利用しなかった(15%)】

・全体の 7 割程度の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・具体的には、集中できる事、皆と一緒に対策できる等の意見が多かったです。

・ただし、感染対策への対応もあり、利用しなかった学生もいました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(75%) ・どちらともいえない(25%) ・良くなかった(0)】

・わからなかった内容についてすぐに対応して下さり、特にテスト対策では、学習計画等全体の約 7 割の学生が、肯定的に捉えていました。また、勉強以外の事でもフォローがあり安心したなどの意見がありました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・教務部には、勉強の事から生活面まで、学生サポートへの感謝の意見がありました。

・事務部には、学生が取り組みやすい学習環境整備に、感謝の意見がありました。

②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、対象 20 名に対し、2023 年 2 月 25 日に実施しました。

【後期 21 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門基礎分野	生 理 学 IV	後期	5	3	0
	リ ハ ビ リ 内 科 学	通年	2	2	2
	リ ハ ビ リ 神 経 学	通年	4	5	5
	救 命 救 急 ・ リ ス ク 管 理 学	後期	12	5	0
	精 神 医 学	後期	5	8	5
	運 動 学 演 習	通年	9	6	14
専門分野	理 学 療 法 基 礎 セ ミ ナ ー I	通年	7	3	1
	理 学 療 法 評 価 学 V	後期	6	9	6
	理 学 療 法 評 価 学 演 習	通年	5	0	3
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	7	9	0
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	後期	6	5	10
	脊 髄 障 害 理 学 療 法 学	後期	2	3	17
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	後期	3	6	5
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	後期	3	10	7
	小 児 理 学 療 法 学	後期	4	3	5
	義 肢 学	通年	2	2	6
	運 動 療 法 技 術 学	後期	7	12	6
	認 知 神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	後期	0	4	8
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 II	通年	3	2	0
	生 活 環 境 論	後期	8	4	0

- ・理解度の高かった科目は、救命救急・リスク管理学、運動学演習、生活環境論でした。
- ・興味深かった科目は、運動療法技術学、脳障害理学療法学Ⅲ、理学療法評価学Ⅴ、スポーツ外傷理学療法学でした。
- ・難度の高かった科目は、脊髄障害理学療法学、運動学演習、末梢神経理学療法学でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床評価実習Ⅱ、特に印象が残っている講義や実習について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(85%) ・どちらともいえない(15%) ・良くなかった(0)】

- ・本年度後期も対面型主体で実施でき、活かせる知識を学び実習で発揮できた事や可能な限り実技を交えながら体感する事ができた事等、肯定的な意見が全体の 8 割程度で満足

感をのべる意見が多くありました。

・一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、時間割変更が生じ、過密日程等へ否定的な意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(55%) ・どちらともいえない(45%) ・良くなかった(0)】

・約 5 割程度の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。自宅とは違い、集中力が高まり、友達との勉強時間が有意義だったという意見がありました。

・どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(65%) ・どちらともいえない(35%) ・良くなかった(0)】

・質問への対応や丁寧な指導で、理解度も高まり、復習する習慣等、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約 4 割いました。

・反面、どちらともいえない学生が約 3 割程度で、指導を受けてない学生が大半でした。

【臨床評価実習Ⅱについての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(70%) ・どちらともいえない(25%) ・良くなかった(5%)】

・臨床評価実習Ⅱについて、約 7 割程度の学生が肯定的に捉えていました。

・実際に、実習指導者が優しく丁寧で充実した実習が送れた事や臨床体験の重要性を再認識し、全ての体験を肯定的に捉えていました。

・どちらとも言えないと回答した学生は、実習を通して課題がみつきり、不安が残った等の意見がありました。

【特に印象に残っている講義や実習について自由記載のまとめ】

・講義では、脊髄障害理学療法学や運動学演習等でした。授業内容の難度が高くても、理解が進むと興味深かったようです。

・実習では、臨床評価実習Ⅱでした。この臨床評価実習Ⅱでの体験は、多くの学生が大きな影響を受けたようです。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・教務部/事務部共に感謝の意見がありました。